

総務省主権者教育アドバイザー

高橋 一之 (たかはし かずゆき)

主権者教育総研テラスポート 代表
神奈川県明るい選挙推進協議会 委員
神奈川県寒川町議会アドバイザー



1991年生まれ 神奈川県出身
明治大学公共政策大学院修了 公共政策修士（専門職）

学生の頃から、選挙啓発や主権者教育の活動に従事する。NPO法人YouthCreate 理事やNPO法人DAKKO事務局長を務めたのち、2026年1月から「主権者教育総研テラスポート」を立ち上げ、代表を務める。

これまでに、明るい選挙参院選全国フォーラム、秋田県明るい選挙啓発フォーラム、佐賀県女性議員ネットワーク、仙台市、東京都八丈町、鳥取県琴浦町など、多数で講演。このほか、世田谷区明るい選挙推進協議会委員やNPO法人Curiosity理事などを務めた。

事例① 地方議会が取り組む主権者教育に協力

神奈川県寒川町議会は2024年6月、「主権者教育の推進」を明文化した議会基本条例を全国で初めて制定しました。

この条例に則り、若者と議員で、まちづくりカードゲームの体験と意見交換を行う「寒川町議会ユーストークcafé」を開催。条例制定に至るまでの伴走支援（研修の講師）や、ユーストークcaféの進行を担当しています。



「寒川町議会ユーストークcafé」の様子



政策決定プロセスの疑似体験を行う「まちづくりカードゲーム」

事例② 子育て世代を対象とした選挙啓発活動

子どもに親が投票する姿を見せることで、選挙を身近に感じ、将来の投票行動にも影響がみられるという総務省の調査結果を参考に、子育て世代を対象とした選挙啓発活動を実施しています。

※総務省「18歳選挙権に関する意識調査」(2016年)

2023年8月、神奈川県寒川町長選挙を前に、選挙管理委員会や地元の子育てサークルと共同で「子育て×選挙コラボレーションイベント」を開催。投票箱や計数機などを使い、子どもに選挙体験をしてもらいました。その親には選挙啓発チラシやグッズを配布しました。



子ども向けの「選挙体験コーナー」

事例③ 若者との対話の場づくり

政治や選挙へ関心を持ってもらい、投票行動を促すことを目的に、若者との対話の場づくりに力を入れています。

2025年10月、神奈川県選挙管理委員会の「かながわ選挙カレッジ実習生」（大学生）と、まちづくりカードゲームの体験を実施。また、「若者が選挙に行くにはどうしたらいいのか」をテーマにワークショップを行いました。

さらに、県選管主催の講演会で、「Z世代と考える選挙啓発のリアル」について講演するとともに、かながわ選挙カレッジ実習生とパネルディスカッションも行いました。



「若者が選挙に行くにはどうしたらいいのか」をテーマにしたワークショップ



「Z世代と考える選挙啓発のリアル」に関する講演会・パネルディスカッション

ぜひお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。